

【教育目標】
進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性をもつ児童～

学校だより No. 8
令和5年12月22日
中央台東小学校
校長 松崎 健一

「皆さんで、元気で楽しい自分たちの中央台東小学校を創りましょう。」

今年も早いもので残すところ9日となりました。本日をもって第2学期が無事に終了しました。保護者の皆様をはじめ、ご家族、地域の皆様の学校に対するご理解とご協力があったることと、改めて感謝申し上げます。

終業式では、私から子どもたちに次のような話をしました。

今日で2学期が終わりとなります。長かったですね。82日間でした。2学期も、楽しく過ごすことができましたか。前半は、夏の猛暑が収まらず暑い日が続きました。秋が来たかなと思ったら、インフルエンザが流行ってしまい、お休みする子が多かったり学級閉鎖になったりと、なかなか全員がそろそろ日がありませんでした。そんな中ではありましたが、皆さんはよく頑張ったのではないかと思います。これから2学期の反省をする学級があるかもしれませんが、自分は何をどのように頑張ったのか、自分は何をどのように頑張れなかったのか、しっかりと振り返ることは大切です。振り返ることで、次の目標が見えてくるからです。しっかりと2学期の反省をしましょう。

さて、今日の校長先生の話のキーワードは『心のスイッチ』です。

2学期の始業式で次のようなお話をしました。何か上手くいかないときや良い結果が出なかったときは、ついつい誰かのせいにしたくなるものです。皆さんは、「楽しくない」ことを誰かのせいにしていませんか。楽しいかどうかは自分の気持ち・行動で決まることがほとんどなんです。授業でも清掃でも係活動や委員会活動でも、やらせられているうちは楽しくありません。「やりたい」「やらなくちゃいけない」「やってみよう」と、自分から行動しようとする人は、だんだんその楽しさが分かってきます。

先日、代表委員会が、スタンプラリーを計画し取り組んでいました。代表委員の皆さんが自分たちのアイディアを担当の先生に相談しながら進めてきたものだそうです。校舎内に張られた面白そうなクイズを解きながら、たくさんの人が参加していました。

こんなこともありました。12月5日の火曜日です。校長先生から放送委員会に朝の放送でお知らせを流すお願いをしました。「大休憩にチューリップの球根を花壇に植えますので、やってみたい人は集まって下さい。」と。すると、たくさんの人が集まってくれて短い時間であっという間に球根を植えることができました。春にたくさんのチューリップが咲くかと思うと今から楽しみです。

さて、スタンプラリーを計画した代表委員も、それに参加した人も、チューリップの球根を植えた人も、やらされたのではなく、自分から「やってみよう」と『心のスイッチ』を入れた人たちです。やってみてどうでしたか。おそらく楽しかったのではないのでしょうか。勉強も同じです。やらせられていると思う勉強は楽しくありませんよね。勉強を自分から「やってみよう」という『心のスイッチ』を入れ気持ちを切り替えられる人は、勉強も楽しいと感じ、成績も伸びる人だと思います。

明日からの冬休みは、各学年ごとに宿題が出ていますが、やらされている勉強ではいけません。適当に済ませて提出することが目的になっては、何も身につけません。「この宿題で2学期の復習をしよう。」「分からないところは〇〇に教えてもらおう。」など、自分から「やってみよう」という気持ちになれるといいと思います。特に、5・6年生は、授業で使用しているタブレットを持ち帰りますので、宿題の他に取り組み自主的な学習で大いに活用してみましょう。

自分にとっても、家族にとっても、周りの人にとっても、良い行いだろうと、気づき・考えたことは、自分から「やってみよう」と『心のスイッチ』を入れ行動に移してみましょう。『心のスイッチ』が入らないことを人のせいにしてはいけませんよ。「やってみよう」という『心のスイッチ』は、自分でしか選べませんし、入れることはできませんから。それでは、元気で楽しい冬休みにしてほしいと思います。

有意義な冬休みを・・・

冬休みは年末年始の行事等もあり、家族・親類・地域の方々とふれあう機会が多くなると思います。子どもたちにとって様々な人とのふれあいは、自己の成長を感じたり、新たな自分を発見する機会ともなります。是非、有意義な冬休みをお過ごしください。

